

1 支部新人大会 来場にあたっての注意事項

1. 来場に当たっての注意事項

- ①氷など暑熱対策に必要な物は、各校で責任をもって準備をしておくこと。また、400m以上の競技はタイムレース決勝とし、走高跳・棒高跳以外のフィールド種目の試技は3回とする。
- ②撮影する場合は必ずADカードが見えるようにつけてください。なお、100mスタート後方などでの撮影を禁止します。また、不審者を見つけた場合は速やかに近くの審判に伝えてください。
- ③競技者・競技役員以外はグラウンドレベルへ立ち入ることは禁止です。競技者・競技役員以外は必ずスタンドから観戦・応援・撮影してください。
- ④各自の貴重品の保管に気をつけてください。特に競技に出場する際は、ロッカーに入れるか、預かってもらう。
- ⑤大会2日目の競技終了後、大会本部にて都大会申込みがあります。直接種目・入賞者は準備をしてください。

2. 出場に当たっての注意事項（重要）

- ①シューズの靴底の厚さの規定があります。十分ご注意ください。
 - ・競技用シューズは、靴底の最大厚さ 20mm スパイクシューズ、またはノン・スパイクシューズとする。ただし、競技場内で行う競歩競技の靴底の厚さは、道路競技と同じ 40mm とする。
 - ・日本陸連 HP (JAAF) の「WA 承認シューズリスト」を参考に各顧問の先生は選手への出場可能シューズの周知・注意をお願いします。尚、リストに載っていないシューズはメーカーHPに可・不可が掲載されている場合もあります。リストに掲載されていない、又は測定希望の選手は、招集所で測定してもらうことも可能です。
 - ・最終コールの際に競技役員が目視でチェックを行い、場合によってはその場で測定します。規定外の厚さで出場した場合は失格になりますのでご注意ください。
- ②事前にスタートリストを確認しサイドビブスの準備をしてください。その際、数字は太く大きく濃く書くようにお願いします。文字が小さい、細い、薄い場合、写真判定装置で読み取れない場合があります。また、4×100m Rは第4走者、4×400mRは第2～4走者がつけることになっています。
 - ※サイドビブスは右腰のみの着用でもかまいません。都大会以上の大会では左右の腰への着用が必須です。
- ③長距離種目（3000m以上）は事前にスタートリストを確認し、オーダーナンバー（レーン番号）のアスリートビブス（胸・背）の準備をお願いします。サイドビブスも同様にオーダーナンバーになります。
- ④リレー種目では、同一のユニフォームを原則としますが、デザイン、配色が同一であれば、選手によりユニフォームのタイプの組み合わせが異なっても良い。

3. 駒沢競技場使用上の注意事項（都大会と原則同じ）

- ①競技者・引率者の入場は7：50を予定しています。はじめに各支部で決まった入場順に、中央広場側出入口から各校2名ずつが入場し、その後、観客も含め全体の入場となります。また、競技場内に地上のすべてのゲート（A・B・C・D）からは出入りができません。
- ②テントやブルーシートは競技場内のプロムナード（回廊）にのみ設置し、公園内の園路や中央広場、自動販売機の前やすべてのゲートの外には設置しないこと。なお、プロムナードの外側半分は通路として空けておくこと。また、観戦の妨げになるのでスタンドにはテントを設置せず、ブルーシートでの場所取りもしないでください。
- ③引率者の方は、入場後（8時半前後）打ち合わせを行いますので、メインスタンド下、中央にお集まりください。
- ④ウォーミングアップは競技場内のプロムナード（回廊）とバックストレートで行ってください。中央広場ではドリルや流し、メディシンボールを用いた投てき練習などを行わないでください。なお、バックストレートは競技が行われていないときのみ使用できますが、審判の指示に従うこと。
- ⑤バックストレートでのウォーミングアップでは、レーンの途中で止まったり、横切ったりせず、端まで行って周囲を確認してからレーンの外へ出ること。
- ⑥フィニッシュラインの横は立入禁止区域とする。また、審判員室や役員室前の通路を通行しないこと。
- ⑦ゴミは必ず各校で持ち帰ること。また、帰宅途中にあるごみ箱に捨てていかないこと。
- ⑧スタンドを含む建物内は、すべてスパイクでの歩行は禁止です。
- ⑨メインスタンド下の更衣室は、更衣室2を男子更衣室、更衣室3を女子更衣室として使用可能です。
- ⑩届けられた落とし物は、大会最終日に全て処分します。
- ⑪大会運営上、確認したいことがある場合は「生徒→各顧問→大会本部（総務）」という形でお願いします。

